

2023年5月期 第3四半期 決算概要

- **BPO サービス・アウトソーシングの需要が伸長**
 堅調な人材需要を背景に、人材紹介サービスは前年を上回って推移
 売上高は 277,280 百万円（前年同期比 +2.4%）
- **主にアウトソーシングでの外部成長コストに加え大型プロモーションに係る費用や、第1四半期での東京オフィスの移転に伴う一時費用により販管費が増加**
 営業利益は 10,664 百万円（同▲38.5%）

1. 第3四半期連結業績（2022年6月1日～2023年2月28日）

（百万円）

	2022年5月期 3Q	2023年5月期 3Q	増減	増減率
売上高	270,875	277,280	+6,404	+2.4%
売上総利益 (売上比)	66,038 24.4%	67,813 24.5%	+1,775 +0.1pt	+2.7%
販売費及び一般管理費 (売上比)	48,690 18.0%	57,148 20.6%	+8,458 +2.6pt	+17.4%
営業利益 (売上比)	17,348 6.4%	10,664 3.8%	▲6,683 ▲2.6pt	▲38.5%
経常利益 (売上比)	17,760 6.6%	11,445 4.1%	▲6,314 ▲2.5pt	▲35.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上比)	7,314 2.7%	3,948 1.4%	▲3,366 ▲1.3pt	▲46.0%

2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業利益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	110,876	▲3,226	▲2.8%	10,953	▲2,865	▲20.7%
BPO サービス（委託・請負）	104,718	+2,199	+2.1%			
HR コンサルティング、教育・研修、その他	6,580	+324	+5.2%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	7,288	+1,142	+18.6%	456	+199	+77.4%
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	10,305	▲715	▲6.5%	2,969	▲388	▲11.6%
アウトソーシング	31,022	+3,956	+14.6%	7,838	▲1,694	▲17.8%
ライフソリューション	6,114	+851	+16.2%	314	+136	+76.9%
地方創生ソリューション	5,247	+1,955	+59.4%	▲2,119	▲417	—
消去又は全社	▲4,872	▲84	—	▲9,748	▲1,653	—
合計	277,280	+6,404	+2.4%	10,664	▲6,683	▲38.5%

主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	主に金融業界や IT、メーカーなど幅広い業界から受注が回復。当四半期の売上高は前年同期を上回ったものの、累計期間では前年度の特需分を埋めるには至らず。
BPOサービス	新規案件の獲得や既存取引のサービス領域が拡大。パブリックセクターからは就職支援・人材育成などの事業を新たに獲得。企業からは組織の構造改革やDX推進関連の需要が継続。
キャリアソリューション	人材紹介事業は、ハイキャリアや専門職種領域での採用意欲は高い状態が継続し、成約数が増加、単価も上昇。再就職支援事業は、企業の事業構造の見直しが落ち着き需要は減少。
アウトソーシング	福祉厚生事業は、M&Aによる外部成長に加え、公務員共済組合の非常勤職員の加入が拡大。大型プロモーション投資、本社移転に伴う一時費用を販管費で計上。
地方創生ソリューション	兵庫県淡路島では、行動制限の緩和により観光地への人流が回復。新アトラクション・新施設が人気を集めたほか、様々なイベントを開催し交流人口の獲得にも取り組む。一部子会社の決算期変更により2ヶ月分の業績を上乗せするも、冬の閑散期に該当するため赤字幅は拡大。

3. 財政・投資の状況

●財政の状況

(百万円)

	2023年5月期 3Q末	前期末比		主な増減要因
		増減	増減率	
流動資産	180,541	+49,417	+37.7%	【現金及び預金】 ・使用が制限されている受託案件に係る顧客からの一時的な「預り金」の増加
固定資産	76,757	+4,284	+5.9%	
資産合計	257,434	+53,688	+26.4%	【受取手形・売掛金・契約資産】 ・受託案件の増加に伴い増加 【有形固定資産】 ・地方創生事業等の資産が増加
流動負債	129,616	+46,061	+55.1%	【預り金】 ・上記使用制限のある一時的な「預り金」の増加 【長期借入金】 ・資金調達により増加
固定負債	60,033	+6,989	+13.2%	
負債合計	189,650	+53,050	+38.8%	【買掛金】 ・支払いが進み減少 【未払法人税等】 ・法人税等の支払いなどにより減少
純資産合計	67,784	+637	+1.0%	【利益剰余金】 ・四半期純利益・配当金支払いの結果、増加 【資本剰余金】 ・(株)ベネフィット・ワンの自己株式の取得による減少 【非支配株主持分】 ・子会社の配当などによる減少
自己資本比率	20.0%	▲4.5pt	—	【自己資本比率】 ・受託案件に係る「預り金」を控除した場合は26.8%

四半期ごとの連結業績及びセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。